

【文化と心理学研究会】第15回公開講演会 オンライン開催

コロナ禍における リスク認知と意思決定

講師：竹村和久先生

早稲田大学文学部心理学教室



講演概要

コロナ禍の中で人々のリスク認知や意思決定が長期にわたり客観的リスクに基づいてなされていないこと、専門家を含めて集団・組織的レベルで批判的思考が軽視された意思決定がなされている現実について具体例をもとに説明し、その心理的要因を考察する。

プロフィール

早稲田大学文学学術院教授、早稲田大学意思決定研究所所長、早稲田大学理工学術院総合研究所兼任研究員、国際応用心理学会（IAAP）フェロー、東京工業大学 博士（学術）北里大学博士（医学）、筑波大学大学院システム情報工学科助教授、カーネギーメロン大学社会意思決定学部フルブライト上級研究員などを経て現職。専門領域は、行動意思決定論、経済心理学、社会心理学、行動計量学。著書に、Takemura, K. (2020). *Behavioral decision theory*, In Oxford research encyclopedia of politics, Oxford: Oxford University Press. Takemura, K. (2019). *Foundations of economic psychology: A behavioral and mathematical approach*, New York: Springer. など。

参加費無料、事前参加申し込み必要

お問い合わせと申し込み先：

聖泉大学 李艶研究室

li-y@seisen.ac.jp 0749 - 43 - 7524

メールの申し込み：

（お名前・ご所属・連絡先必要）

日時：2021年2月3日
14：00～15：00

主催：日本心理学会
文化と心理学研究
（代表 李艶）